

会 議 録

会 議 名	令和元年度第1回小金井市民交流センター運営協議会		
事 務 局	市民部 コミュニティ文化課		
開 催 日 時	令和元年8月28日(水) 18時00分～19時50分		
開 催 場 所	前原暫定集会施設 B会議室		
出 席 委 員	小林真理委員長 桑谷哲男副委員長 坂野勝一委員 星野幸子委員 五井由紀委員 村越桂子委員 津田野栄一委員		
欠 席 委 員	鈴木輝一委員 西田剛委員		
事 務 局 員	1 小金井市 コミュニティ文化課長 鈴木遵矢 コミュニティ文化課主任 津端友佳理 コミュニティ文化課主事 小野 智広		
傍 聴 の 可 否	可		
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由		傍聴者数	0人
会 議 次 第	(1) 前回議事録について (2) 平成30年度事業報告について(報告) (3) 令和元年度事業の状況について (4) 次期指定管理者の募集について(報告) (5) その他		
会 議 結 果	別紙のとおり		
会 議 要 旨	別紙のとおり		
提 出 資 料	(1) 平成30年度第2回小金井市民交流センター運営協議会議事録 (2) 平成30年度小金井市民交流センター事業報告書 (3) 令和元年度第1回小金井市民交流センター運営協議会次第 (4) 令和元年度事業の状況について		

1 議題へ入る前に事務局から説明

- (1) 市職員の人事異動に伴う紹介を行った。
- (2) 事前配付資料の確認、当日配付資料の確認を行った。
- (3) 会議の運営について事務局から説明を行った。

各議題の最後に指定管理者に対する意見や要望がある場合においては、それをまとめる（指定管理者へ指摘すべき点等について協議し、市に対して意見をすることが本協議会の所掌事務のため）。

2 前回議事録について

- (1) 前回運営協議会にて出された意見のその後の対応について、事務局から次のとおり説明

ア 施設を利用していない市民に対して、政策評価のような市民アンケートを実施してほしい。

→事務局から、9月実施予定の「市長への手紙」という市民アンケートに項目として入れることができたことを報告。

イ 施設壁面におけるサインデザインにおける、著作権などの登録状況

事務局から、著作権の登録の確認が取れなかったと報告。

→委員からサインデザインの活用方法について、具体的に検討するようという意見。

⇒ 上記の意見を踏まえ、運営協議会として、次のとおり意見をまとめた。

サインデザインの活用方法について、具体的に検討してほしい。（意見）

3 平成30年度事業報告について（報告）

事務局から平成30年度事業報告について説明の後、質疑を行った。オブザーバーの指定管理者を招集しなかったため、事前に委員より受け付けた質問に対する指定管理者の回答を事務局が代読した。

・委員から、観光まちおこし協会や市立図書館等とのイベント連携について、連携先からどのような意見があったかという質問。

→指定管理者から、連携により「企画、進行全般に安定感が持てるようになった。」

や「自らの広報活動とは異なる客層の集客ができた。」など好評をいただいております、今後も連携を図っていくと回答。

→委員から、連携はどちらが働きかけているのかという質問。

・年間来館者の推移における過去3年度の減少要因について質問。

→指定管理者から、現状、指定管理者が利用者から報告を受ける貸館事業の割合が多く、利用内容によっても大きく変動する部分であると捉えていると回答。

→委員から、データに基づき具体的に回答することを要望。

・著名な演奏家の方々が公演された際に受けた大ホールの感想やコメント

→指定管理者から、響きの良いホールであると好評をいただいていると回答。

・委員から、定員を下回った公演の要因について質問。

→指定管理者から、希少価値のある公演がコアなファン層に反響が留まってしまったことや、本来は小ホールくらいの空間が最適の企画であったものを設備や仕様上、大ホールでの実施としたことによると回答。

- ・委員から、公演の柱に「落語」が選ばれた理由について質問。
- 指定管理者から、市民からの要望が多かったために開始し、その後の自主公演のアンケートでも大変好評のためという回答。
- ・委員から、建築関係の修繕計画における設計費用の捻出のプロセス及びそれに要するおおよその期間について質問。
- ・委員から、駐輪場の連携における課題が何かについて質問。
- 指定管理者から、駐輪場に常駐職員がいないため即時対応できる体制ができていないことであると回答。
- ・委員から、冷温水ポンプと冷却水ポンプともに1台のみの設置は一般的であるかという質問。
- 指定管理者から、一般的であり、点検や整備がとても重要になると回答。
- ・委員から、ホームページ等に対するハッキング対策は講じているかの質問。
- 指定管理者から、本社のシステム担当者と連携し、情報セキュリティーについて、定期的に検討し、必要に応じて更新等の作業を行っているという回答。
- ・委員から、「広報委員会」のメンバーはどういう方々で、広報に関する専門知識や技術はどのように確保されているかの質問。
- 指定管理者から、事業、運営の各グループの担当者と、市民交流センターの広報活動を総合的に行うグループの担当者から選出したメンバーで構成し、必要に応じて本社の担当者とも連携して活動しているという回答。
- ・委員から、「情報掲載実績」で、朝日新聞が多いのはなぜかという質問。
- 指定管理者から、クラシック公演等の潜在顧客が多いと想定し、実際、掲載後の反応もよく、お問い合わせ、お申し込みをいただいているという回答。
- ・委員から、「情報掲載実績」で、取材記事がないのはなぜかという質問。
- 指定管理者から、ニュースリリース等を送付し、情報提供は行っているが、取材については各社ごとの企画で決まるため取材には至っていないという回答。
- ・委員から、来場者が突然倒れる等の場合に常駐の担当者やスタッフが迅速な救命救急対応をとれるような研修を行っているか、上級救命講習は何人が受講しているかという質問。
- 指定管理者から、定期的に訓練や、救命講習の取得を積極的に行っており、また、日々の巡回の中で、利用者への目配りや体調の悪そうな方への積極的な声がけを行い、未然防止にも努めているという回答。
- ・委員から、去年は予測を超えた酷暑となったのですが、それでも「水光熱費」が予算を1割近く下回った理由について質問。
- 指定管理者から、リスク等を考慮した予算となっているため、酷暑ではあったが、予算を下回ったという回答。
- ・委員から、「システム管理費」が予算を2割近く下回った理由について質問。
- 指定管理者から、施設予約システムの一部の減価償却が終了したことと、チケットシステム変更に伴い保守管理費を削減したためという回答。
- ・委員から、職員が風疹にかかったことがあるか、予防接種を受けているかについて質問。
- ・委員から、高齢の方が利用する際に、エレベーターの利用（稼働台数が1台である理由や修繕計画にエレベーターの増設を盛り込むことを含む）やアナウン

スの工夫をしてほしいという要望。

- ・委員から若い方に向けての情報発信としてSNSの活用が必要であるという要望。
 - ・委員から、広報紙の記事における誤った内容を掲載しないための防止策は講じたかという質問。
 - ・委員から、加入している保険の内容について質問。
 - ・委員から、茶道の催しをするにあたり、和室以外の練習室や市民ギャラリーを使用することはできないかという質問。
- 事務局から、控室として使用することはできるが、お茶の提供はできないと回答。
- ・委員から、補助金の更なる活用を検討してほしいという要望。
 - ・委員から、共催事業、連携事業、提携事業の違いについて質問。
 - ・委員から、監査委員からの過去の検討要望事項で、指定管理者としての全体の収支がわかる元帳の作成をすることが挙げられているが、その後作成しているかの質問。

⇒上記の議論を踏まえ、運営協議会として、次のとおり要望・質問をまとめ、市又は指定管理者に確認することとした。

- 1 観光まちおこし協会や市立図書館等とのイベント連携について、連携はどちらが働きかけているのか。（質問）
- 2 年間来館者の推移における過去3年度の減少要因について、データに基づき具体的に回答してほしい。（要望）
- 3 建築関係の修繕計画における設計費用の捻出のプロセス及びそれに要するおおよその期間について（質問）
- 4 情報掲載において、掲載先を広げること検討してほしい。（要望）
- 5 上級救命講習の受講者数について（質問）
- 6 職員が風疹にかかったことがあるか、予防接種を受けているか。（質問）
- 7 高齢の方が利用する際に、エレベーターの利用やアナウンスの工夫をしてほしい。（要望）
- 8 エレベーターの稼働台数が1台である理由（質問）
- 9 修繕計画にエレベーターの増設を盛り込むことができるか。（質問）
- 10 若い方に向けての情報発信としてSNSの活用が必要である。（要望）
- 11 広報紙の記事における誤った内容を掲載しないための防止策は講じたか。（質問）
- 12 加入している保険の内容について（質問）
- 13 補助金の更なる活用を検討してほしい。（要望）
- 14 共催事業、連携事業、提携事業の違いについて（質問）
- 15 監査委員からの過去の検討要望事項で、指定管理者としての全体の収支がわかる元帳の作成をすることが挙げられているが、その後作成しているか。（質問）

4 令和元年度事業の状況について

事務局から令和元年度事業の状況について説明の後、質疑を行った。

- ・委員から、「ホールの響きシリーズ 第一回 天上の響き」の来場者が少ない理由について質問。

⇒上記の議論を踏まえ、運営協議会として、次のとおり質問をまとめた。

「ホールの響きシリーズ 第一回 天上の響き」の来場者が少ない理由について
(質問)

5 次期指定管理者の募集について（報告）

事務局から次期指定管理者の募集について説明を行った。

6 その他

(1) 委員向け施設見学会について

自由参加で行うこととなった。

(2) 第2次芸術文化振興計画策定委員の選出について

第2次芸術文化振興計画について説明を行い、小金井市民交流センター運営協議会委員から1名選出することとなり、桑谷委員が選出された。

(3) 日本の伝統文化の関係イベントについて

委員から、市議会第1回定例会において外国人旅行者の急増が見込まれることから、宮地楽器ホールを有効活用し、日本の伝統文化の関係イベントを同大会に合わせて開催してはどうかと議論があり、その後どうなったかについて質問があった。